

埼玉県立大学 2021年度教員免許状更新講習のご案内

■講習案内

埼玉県立大学では、文部科学大臣の認定を受け、2021年度教員免許状更新講習を実施します。

教員免許状更新講習には、必修領域(6時間以上)と選択必修領域(6時間以上)と選択領域(18時間以上)とがありますが、本学では、選択領域(受講者が任意に選択して受講する領域)についてのみ開講します。詳細は埼玉県立大学ホームページ掲載の募集要項をご覧ください。

■開設する講習【選択領域】

講習名	開講日	時間	主な対象	募集人数	受講料
子どもの個性を認めるかかわり ～子どもの感覚機能の発達に着目して～	7月29日 (木)	6時間	全教諭 養護教諭	40名	6,000円
幼児期の豊かな学びを支える 教育	8月3日 (火)	6時間	幼稚園 教諭	25名	6,000円
困難を抱えた子どもと保護者との 関わり ～不登校・発達障害に着目して～	8月4日 (水)	6時間	全教諭 養護教諭	40名	6,000円
学校保健の今日的課題と実践	8月6日 (金)	6時間	全教諭 養護教諭	40名	6,000円

■申込み方法

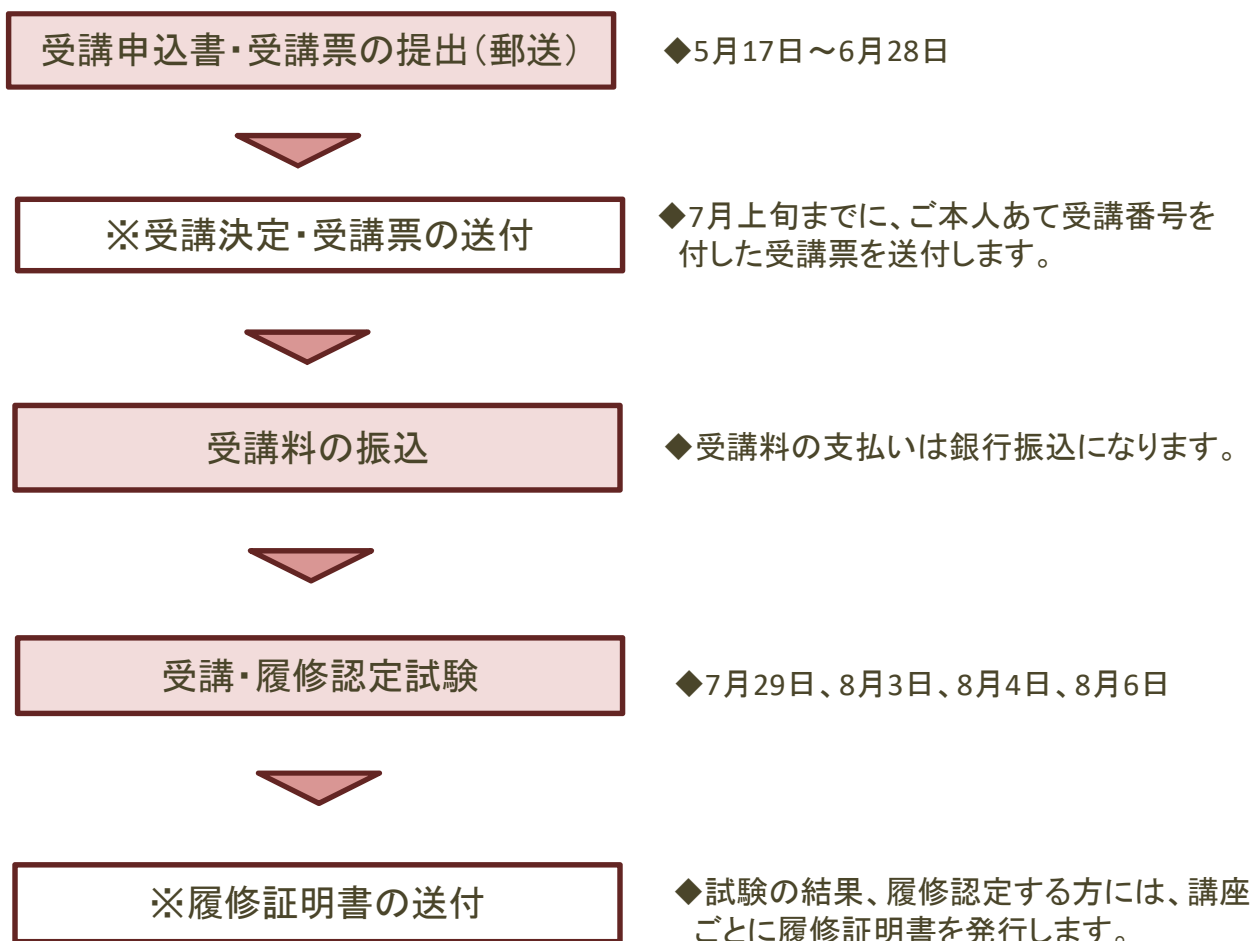
- ◇ 埼玉県立大学ホームページ(<https://www.spu.ac.jp/>)から次の様式をダウンロードしてください。
①受講申込書、②受講票
- ◇ 必要事項の記入、所属長の証明、顔写真の貼付等をお願いします。
- ◇ 次の申込み期間内に、①②を申込先まで簡易書留にて郵送してください。
【申込先】 〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地
埼玉県立大学 地域産学連携センター 宛

○問い合わせ 電話:048-973-4114(直通)／E-mail:edec@spu.ac.jp

■申込み期間

2021年5月17日(月)～6月28日(月) 【必着】

■受講の流れ



■講習の概要

講習名	子どもの個性を認めるかかわり ～子どもの感覚機能の発達に着目して～
担当講師	中村 裕美(埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科 教授) 石岡 俊之(埼玉県立大学保健医療福祉学部作業療法学科・准教授)
開講日	2021年7月29日(木) 9:30～17:00
講習内容	①作業療法士は、身体や道具の使い方がうまくできない人々を支援しています。まず、子どもの感覚機能は、どのように発達するのか、基礎的な事柄を平易な言葉を使って説明します。 ②次に、子どもの感覚機能の発達には個人差があり、すべての感覚機能が一律に 同水準で発達していくのではないことを理解していただきたいと思います。臨床像を解説します。 ③欧米ではインクルーシブ教育として、子どもが同じ環境で学んでいます。身体や道具の使い方がうまくできない子供たちを支援する方法を英国での教師向け講習会の実践をもとに紹介します。以上の3つの事柄を中心に解説し、一部演習を取り入れます。
主な受講対象者	全教諭、養護教諭

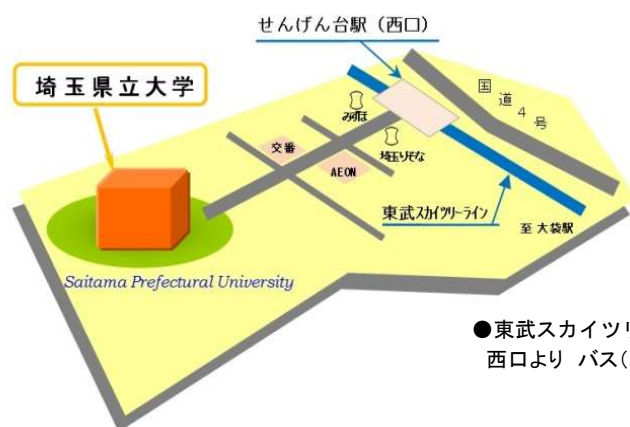
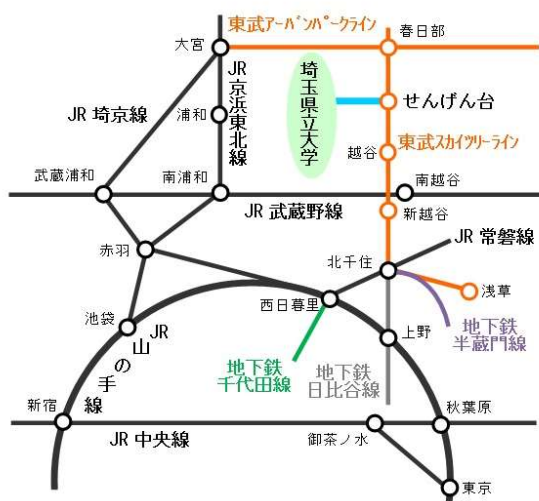
講習名	幼児期の豊かな学びを支える教育
担当講師	越智 幸一(埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 教授) 居崎 時江(埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 助教)
開講日	2021年8月3日(火) 9:30～17:00
講習内容	①「自然と子ども」:自然との関わり意義、国内外の実践例等の講義および安全管理や自然を用いた遊びなどをメインとした演習 ②「非認知能力を伸ばす教育とは」:非認知能力の重要性に関する講義および非認知能力を伸ばすための実践例を紹介
主な受講対象者	幼稚園教諭

講習名	困難を抱えた子どもと保護者との関わり ～不登校・発達障害に着目して～
担当講師	東 宏行(埼玉県立大学保健医療福祉学部共通教育科 教授) 森 正樹(埼玉県立大学保健医療福祉学部共通教育科 准教授)
開講日	2021年8月4日(水) 9:30～17:00
講習内容	①不登校を中心に、いじめやSNS・スマホによるトラブルについて、具体的な対応方法、支援のコツ、保護者とのかかわり方について解説します。また、適応指導教室や専門機関との連携方法等についても、実践例を紹介します。 ②発達障害等により特別の教育的支援を要する子ども達の困難の背景、教育的支援のニーズを発達学的観点から解説します。併せて、教育現場の日々の取り組みに活かす、子ども理解の観点、実践のヒントを、各種の事例をもとに紹介します。
主な受講対象者	全教諭、養護教諭

(裏面にも記載があります)

講習名	学校保健の今日的課題と実践
担当講師	上原 美子(埼玉県立大学保健医療福祉学部共通教育科 教授) 高橋 宏至(埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科 教授)
開講日	2021年8月6日(金) 9:30～17:00
講習内容	①多様化、深刻化する子供の現代的な健康課題、とりわけ、学校精神保健に関わる課題と解決に向けて学校の役割を考えます。また、教員の精神的健康やストレス対処方法を理解することをねらいとします。 ②学校安全の構成を知ると共に、安全教育の3つの領域である「生活安全」「交通安全」「災害安全」について、専門的知識と実践力を身につけます。
主な受講対象者	全教諭、養護教諭

交通アクセス



- 東武スカイツリーライン「せんげん台駅」下車
西口より バス(朝日バス): 約5分 / 徒歩: 約20分